

(ウ) 課題番号3

課題分野：I	課題名：「キク産地における安定出荷体制の整備支援」	
対象： ①②JAならけん葛城花卉出荷組合	計画期間：H27～29	
	農林振興事務所名：中部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
①計画生産出荷体制整備（二輪ギク） ②戦略品種の選定（キク全般）	①県育成二輪ギクの現地実証試験、県育成二輪ギク新系統の現地試作導入。作付け計画の作成支援、生産者への意識啓発、市場へのお荷事前情報の提供支援 ②生産者への意識啓発、検討会の開催。実需者ニーズ調査の実施。	①作付面積は、前年よりも上回った。新系統の現地試作により、有望系統を2品種検索。出荷事前情報強化により、販売単価が上昇し、市場からも評価を得ることができた。 ②産地戦略の必要性が意識付けられ、戦略品種を60品種選定した。

総合評価（コメント）
<p>A：5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■10年間で半減した生産量を増加に転じることは容易ではないが、従来の枠に囚われないアイデアの集積が必要。そのためにも、新規就農者の新鮮なアイデアをいかす方法がないか、検索して欲しい。 ■作付けするキク品種数の整理と新規就農者確保の取り組みを期待する。 ■関係機関の連携の成功例と思われる。 ■着実に成果が出ており、今後も継続支援する必要がある。 <p>B：1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■今後の取り組みを通じて、10年間で半減した生産量を上げることができるか、期待したい。経営の安定が産地の維持、担い手の確保に繋がると考える。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■生産者や関係機関が連携して、安定生産出荷体制の整備、ブランド強化に取り組むことにより、生産者の経営改善や担い手確保につながる支援を行いたい。 ■生産者の高齢化が進展しているため、省力化が図れる県育成品種の普及により、生産性の向上と産地維持を目指す。